



## 学校教育目標

☆ともに学ぶ生徒

☆こころ豊かな生徒

☆ともに鍛える生徒

### 熊谷の子どもたちは、これができます！

「生きる力」= 学力・体力・やる気

- ① 朝ごはんをしっかり食べる。
- ② 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする
- ③ 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う
- ④ 友だちをたくさんつくる。

### 「3減運動」

- ・テレビの時間
- ・ゲームの時間
- ・携帯電話やパソコンの時間



### 増やします！

- 家族との会話
- 予習・復習の時間
- 読書の時間

大人が手本となって

## 体験学習を通して学ぶこと

### ～3年生バーチャル修学旅行、1，2年生認知症サポーター養成講座～

昨年度は、コロナウイルス感染予防のため、学校行事の多くが中止になりました。今年度は感染予防に配慮しながら、少しずつ学校行事や体験学習を行っています。

6月1日、「ようこそ京都へ。」と、バスガイドさんの声からバーチャルでの3年生修学旅行が始まりました。本来なら新幹線に乗って、古都を巡る修学旅行ができたはずでしたが、今年も感染予防のため残念ながら中止となりました。多感な中学生という時期に文化財などを直接見て、日本文化を感じる経験は大変貴重です。しかし、バーチャルの映像（360°見渡せる）でも本物には及びませんが、雰囲気を感じ取ることができたと思います。（東大寺の大仏の大きさ、嵯峨野のトロッコ列車や清水寺から風景など）

社会や英語の教科書には、今回バーチャルで紹介された建物や場所が数多く取り上げられています。今回学んだことは、教科の学習にもきっと生かすことができるでしょう。そして、中学校卒業後に旅行ができる環境になりましたら、今回訪問する予定だった場所や興味を持った建物などを、ぜひ訪れてみてください。

湯呑の絵付けも

体験しました。

6月15日、1，2年生は講師をお招きし、認知症サポーター講座を体験しました。認知症の人は記憶することがなぜ難しいのか、その理由を脳（海馬）の模型を使ってわかりやすく説明していただきました。また、「驚かせない」「急がせない」「心を傷つけない」など認知症の人と接するためのポイントを示し、相手の立場に立って考えることなど、アドバイスをいただきました。本校では祖父母と一緒に住んでいたりと、近所にお年寄りがいたりする生徒が多く認知症は身近なことです。この講座を通して、認知症について正しく理解し、できる範囲で手助けできるようになってほしいと思います。

